

講座名（専門科目名）	生化学・分子生物学（遺伝学）	教授氏名	吉森 保
学生への指導方針	日本が世界をリードする本分野のトップレベルの研究に携わることにより、基礎研究の醍醐味を味わいながら医学の発展を目指して貰う。		
学生に対する要望	まだ誰も知らないことを発見しようと言う知的好奇心と高いモチベーションを持った人を望みます。		
問 合 せ 先	(Tel) 06-6879-3588 (Email) tamyoshi@fbs.osaka-u.ac.jp	担 当 者	吉森 保
その他出願にあたっての注意事項等			

(以下教室紹介)

研 究 内 容		
1. オートファジーの分子機構、とりわけオートファゴソーム膜新生のメカニズムの解明 2. 選択的オートファジーによる病原体や損傷オルガネラなどの除去機構の研究 3. がん、2型糖尿病、神経変性疾患などの病態におけるオートファジーの役割の解析 4. 3の疾患治療を目指したオートファジー制御剤の開発		
著 者	研 究 業 績	掲載雑誌・巻・号・頁等
Hamasaki M, et al.	Autophagosomes form at ER-mitochondria contact sites.	<i>Nature</i> , 495(7441):389-93. (2013)
Nakamura S, et al.	Suppression of autophagic activity by Rubicon is a signature of aging.	<i>Nat. Commun.</i> , 10(1):847. (2019)
Hayashi-Nishino M, et al.	A subdomain of the endoplasmic reticulum forms a cradle for autophagosome formation.	<i>Nat. Cell Biol.</i> , 11(12):1433-7. (2009)
Matsunaga K, et al.	Two Beclin-1 binding proteins, Atg14L and Rubicon, reciprocally regulate autophagy at different stages.	<i>Nat Cell Biol.</i> , 11(4):385-96. (2009)
Nakagawa I, et al.	Autophagy defends cells against invading group A Streptococcus.	<i>Science</i> , 306(5698):1037-40. (2004)
備 考		
ラボ HP: https://yoshimori-lab.com		